# 令和８年度　学校関係者評価報告書

**大原簿記専門学校神戸校**

## １．基礎情報

（１）会議日時・会議場所

令和８年８月６日（木）15:30～16:15　大原簿記専門学校神戸校 091 教室

（２）出席者（順不同）

①学外委員　釜田 亮佑 様(釜田税理士事務所 所長 税理士)
上野　雄一様(青山商事株式会社 法人部 マネジャー)
藤原　和明様(洋服の青山 三宮店 上席店長)
久保田 知志様（医療法人沖縄徳洲会 神戸徳洲会病院 医事課 課長補佐）
石井 祐介様（自衛隊兵庫地方協力本部神戸出張所 所長）
小林 和弘様(神戸商工会議所)

〈欠席〉
前原 啓二 様(前原会計事務所ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ・ｱｳﾄｿｰｼﾝｸﾞ有限会社 所長 公認会計士)

※欠席委員より委員長一任の承諾を事前に頂戴している

②学内委員　田中　克実（委員長）
恩知　孝康
嘉来　正人
長尾　章吾
石川　敦士

## ２．会議録

（１）挨拶　大原簿記専門学校神戸校　（学校長 田中 克実より）
校長挨拶、自己紹介、職業実践専門課程の趣旨説明を行った。

（２）令和７年度自己点検概要報告　（教務課長　長尾 章吾より）
令和７年度における自己点検・評価について報告を行った。
各課より、昨年の結果報告を行った。

（３）重点項目報告および学外委員からの助言
①社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか

| 現状・達成指標 | 具体的方策 | 学校関係者の評価・提言 |
|---|---|---|
| 地域・教育内容に関するニーズを意識し、中長期での新規コース設置や教育の見直しを検討している。 | 目まぐるしく変化する教育内容へのニーズをよりスピーディーに調査・分析し、教育に取り入れる柔軟な体制強化を進めている | 資格系の就職、ニーズは非常に高い |

②卒業生の社会的評価を把握しているか

| 現状・達成指標 | 具体的方策 | 学校関係者の評価・提言 |
|---|---|---|
| 企業・官公庁担当者より情報を収集して状況を確認している | 官庁及び学生個人からの聞き取りを実施している状況 | 同窓会組織の設立、グループ Line 等の活用 |

③キャリア教育を実施しているか

| 現状・達成指標 | 具体的方策 | 学校関係者の評価・提言 |
|---|---|---|
| 学ぶことの大切さを伝えるためのガイダンス等は実施しておるのか | 社会全般において必要な能力向上のための教育などがあればご教授いただきたい | 授業の一環として、自衛隊駐屯地の見学や職場体験を積極的に実施し、実際の業務や職場環境に触れる機会を設けることで、職業理解を深めていく<br>社会で最も重要となる力はコミュニケーション能力である。知識や技術だけではなく、相手に伝える力や信頼関係を築く力を養うことを重視する<br>AI の急速な発展に伴い、従来の教育内容だけではなく、AI を適切に活用する力と、AI が作成した情報を見極める力（AI リテラシー）を身に付ける教育が必要である<br>対人業務では、相手の立場や感情を理解し、状況に応じて適切に対応する「人を察する力」が求められる場面が多い。そのため、相手への配慮や状況判断力を育成する教育にも力を入れていく |

（4）学校関係者評価委員会

総括教育業界では、生徒やその家族と接する機会が多いことから、時代の変化に応じた教育手法や知識を身に付け、常に教員としての資質向上を図ることが求められている。特に、AI の普及や社会環境の変化に対応するためには、専門知識の指導に加え、コミュニケーション能力や情報を正しく見極める力、人間力を育成する教育がこれまで以上に重要となる。

大原学園においては、これまで築き上げてきた高い就職率、資格合格率、公務員合格率を引き続き維持・向上させるとともに、授業や研修、職場見学・職場体験などの実践的な学びを充実させ、専門知識だけでなく社会人基礎力や対人能力を育成する機会を積極的に提供していただきたい。こうした教育を通じて、変化の激しい社会においても活躍し、広く社会に貢献できる人材の育成に今後も取り組んでいただくことを期待する。

以上

作成：令和８年８月６日
文責：石川　敦士